

まちの話題

8/1

(金)

森の声を感じて…

夏休みも中盤に差しかったこの日、環境学習ツアーの一のエコニコツアーが開催され、市内の小学生と保護者37人が参加しました。うだるような暑さにも負けず、愛・地球博記念公園では森の案内人と一緒に森林探索をし、ゲームをして自然に触れながら森を守ることの大切さを学びました。途中、ツアーお楽しみの「サツキとメイの家」を見学して映画そのままの家屋に歓声をあげながら、最後は環境学習センターのエコパルなごやで空き缶を利用した小物入れを作りました。友達と一日めいっぱい遊び、学んで、素敵な夏の思い出になったことでしょう。



8/2

(土)

絵画の海に響いた やさしい歌声

かわら美術館で行なわれた「ねむの木のこどもたちとまり子美術展」に、ねむの木学園のこどもたちと宮城まり子さんが訪れ、展示会会場でコーラスを披露しました。宮城さんの指揮によりこどもたちが美しい歌声を披露すると、周りに集まったお客さんからは盛大な拍手が沸きあがります。会場にはいっぱい笑顔があふれ、とてもあたたかなひと時となりました。

8/9

(土)

いろど 彩りをぎゅっと詰めこんで

高取小学校で植物の葉や花を利用した緑のカーテンの製作（愛知県緑の教室モデル事業）を行いました。眩しい日差しを受け、校舎壁面をゴーヤーやヘチマでできたカーテンが涼しげに覆っています。緑のカーテンを育てることで、生徒の皆さんのエコの心も育ったことでしょう。

また、緑のカーテンに咲いた花を利用した押し花教室が行なわれ、生徒と保護者の皆さんが参加しました。色とりどりの花を思い思いに摘んで押し花にしたものを、ラミネート加工してしおりを作りました。自分だけのしおりができると、その可愛らしさにみんなニコニコ。夏休みの思い出がまた一つ増えました。

